

○令和4年度 第1回 松江市社会福祉審議会障がい者福祉専門分科会 概要

1. 開催日時等

- (1) 日時 令和4年8月31日(火) 19:00
- (2) 場所 松江市役所本館西棟3F 第2常任委員会室

2. 議事概要

(1) 分科会委員の交代

- ・松江公共職業安定所推薦の委員 佐々木将人 → 小田川誠司

(2) 令和3年度(第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画期間)の各種サービス・事業実績報告

- ・令和3年度の障がい福祉サービス給付、相談支援や手話通訳等派遣事業等を行う地域生活支援事業などの実績報告を行い、審議をいただいた。

(3) 各種連携会議、検討チーム会議の状況について

①就労支援検討チーム会議

- ・近年の取組や今後取り組んでいく課題(就労実習先の確保、余暇支援の情報提供など)を確認した。
- ・就労能力があるが就労に至っていない人を調査し、障がい特性や能力に応じた就労へのつなぎの方策を議論した。
- ・就労アセスメントに係る厚生労働省科学研究事業における研究に参画する団体(松江地域では、(社福)桑友、松江障害者就業・生活支援センターぶらす)に市も協力し、就労アセスメントの課題、実態を整理し、多機関が連携しながらのアセスメント有効活用などを検討した。
- ・その取組として、就労アセスメント連続セミナーを開催し、参加した福祉事業所のスキルアップと連携強化を行っているところ。

②地域移行・定着・包括ケア連携会議

- ・今後、障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、緊急時の施設受入や1人暮らしの体験の場の提供などの居住支援体制(地域生活支援拠点)の構築を国が求めている状況や地域課題を踏まえ、松江地域の体制づくりについて連携会議を活用し進めていく考え。

③障がい児支援連携会議

- ・会議の取組として、障がい児支援に関わる団体向けに、子どもの人権、子どもとのコミュニケーションをテーマに研修会を開催した。また、関係団体のコーディネーター、ファシリテーターに集まってもらい、連携について意見交換を行った。

(4) 令和4年度からの相談支援体制について

令和4年4月に、市の相談支援の中核機関として、松江市障がい者基幹相談支援センター絆を開設を行ったことを報告し、あらためて基幹相談支援センター絆の体制や業務内容、また市内相談支援事業所を含めた新しい相談支援体制について説明を行った。